

たいひ  
りんご湯の堆肥 ぜひお試しを

年 組 名前

軽井沢町の「星野温泉トンボの湯」は、「りんご湯」で湯船に浮かべたリンゴから作った堆肥を、無料で配りました。配った目的と、堆肥をどうやって作ったのか、記事から読み取りましょう。

①リンゴの堆肥化は、どんな取り組みと併せて、何のきっかけにしたいと行ったのですか。

取り組み―

きっかけ―

②トンボの湯が2008年から毎年、りんご湯に利用してきたのは、だれから譲り受けた、どんなリンゴですか。

だれから―

どんなリンゴ―

③湯船で使用後にカットしたりリンゴを、何と一緒にコンポストに入れましたか。何カ月間寝かせましたか。

一緒に入れたもの―

寝かせた期間―

④どんな作業を繰り返して、「ふかふかな土」が完成しましたか。その土を、何と名付けましたか。

繰り返した作業―

土の名前―

⑤担当した田畑奈津子さんは、どんなことが大変だったと話していますか。

## りんご湯の堆肥 ぜひお試しを



トンボの湯が無料配布する袋入りの堆肥。左のコンポストで堆肥を寝かせた

## 軽井沢 湯船に浮かべた果実 再資源化

軽井沢町の温泉施設「星野温泉トンボの湯」は、秋恒例の催し「りんご湯」で湯船に浮かべたりんごから作った堆肥を26日、一般の人に無料で配布する。ごみ減量や再資源化の取り組みと併せ、住民とのつながりを深めるきっかけにしたいと、配布を目指して堆肥化に初めて取り組んだ。

トンボの湯は2008年から毎年、傷などがあり加工とされるりんごを東信地方の農家から譲り受け、りんご湯に利用。その後、近隣の牧場に運び、生ごみとして土に戻してきた。

昨秋は、小諸市の野元勝也さん(40)が生産したりんごを中心

に1200個を農家からもらった。湯船で使用後に約200個をカットしてコンポストに入れ、落ち葉や培養土、水と一緒に、昨年10月下旬から約5カ月間寝かせた。水を足したり、かき混ぜて空気を含ませたりする作業を繰り返し、「ふかふかな土」が完成。「りんご土」と名付けた。

担当したスタッフの田畑奈津子さん(38)は「種などを取り除くのが大変だったが、いい堆肥ができた。一部を次の堆肥作りに使い、息長く続けたい」。出来上がった堆肥約180㍑のうち、1袋300㍑入りで200袋を無料配布。26日午前10時から、トンボの湯の受付で配る。問い合わせはトンボの湯(☎0267・44・3580)へ。

(2021年4月21日朝刊・地域面〈東信〉)

たいひ  
りんご湯の堆肥 ぜひお試しを

解答例

年 組 名前

軽井沢町の「星野温泉トンボの湯」は、「りんご湯」で湯船に浮かべたりんごから作った堆肥を、無料で配りました。配った目的と、堆肥をどうやって作ったのか、記事から読み取りましょう。

①りんごの堆肥化は、どんな取り組みと併せて、何のきっかけにしたいと行ったのですか。

取り組み—**ごみ減量や再資源化**

きっかけ—**住民とのつながりを深めるきっかけ**

②トンボの湯が2008年から毎年、りんご湯に利用してきたのは、だれから譲り受けた、どんなりんごですか。

だれから—**東信地方の農家**

どんなりんご—**傷などがあり加工用となるりんご**

③湯船で使用後にカットしたりりんごを、何と一緒にコンポストに入れましたか。何カ月間寝かせましたか。

一緒に入れたもの—**落ち葉や培養土、水**

寝かせた期間—**約5カ月間**

④どんな作業を繰り返して、「ふかふかな土」が完成しましたか。その土を、何と名付けましたか。

繰り返した作業—

**水を足したり、かき混ぜて空気を含ませたりする作業**

土の名前—**りんご土**

⑤担当した田畑奈津子さんは、どんなことが大変だったと話していますか。

【答え】 **種などを取り除くこと**